



ホームページでもご覧いただけます。http://www.osaka-c.ed.jp/nose/index.html

# 能勢高校ニュースレター

第46号 H.23. 2月発行

氷点下を下回る日々が続きましたが、ようやく寒さも和らいできましたようです。ホットなニュースが満載の、ニュースレター2月号をお届けします。

## マレーシア修学旅行でアスンタ高校との学校交流を行いました

去る1月24日から28日まで2年次生のマレーシア修学旅行を実施しました。活動3日目の1月26日に第5回目となる現地アスンタ高校との学校交流を行いました。アスンタ高校は、英語をコミュニケーションツールとし、マレー系、中国系、インド系の生徒がともに学び、多文化共生や異文化理解を尊重している高校です。

本校生たちは、「総合的な学習の時間」などにおいて、アスンタ高生と半年以上かけてインターネットを利用したメール交換や写真交換などを行い、1対1の交流を続けてきました。

この日は、朝8時30分に学校に到着。各々の交流相手を確認し、交流会が始まりました。本校生たちは、全員で練習を積み重ねてきたダンス・歌に加え、空手道の演武、学校紹介のプレゼンなどを行いました。アスンタ高生たちも、民族舞踊や歌、伝統的な結婚式のパフォーマンスを披露するなど、熱烈に歓迎してくれました。交流ノートを交換し、マレーシア料理を一緒に食べた後、午後からは、アスンタ高生のリードでクアラルンプール市内を散策しました。夕食のパーティは、両校生たちが企画し、歌やダンスなどのパフォーマンスを競うなど、全員が心から打ち解け、大きな感動を呼ぶものとなりました。パーティは夜の8時30分に終了し、12時間に及ぶ交流となりました。

また、今回の修学旅行では、世界遺産マラッカ訪問、熱帯雨林トレッキング、イスラム教・ヒンズー教・仏教の代表的な寺院の見学なども行いました。本校生たちは、この旅行を通じ、外国の友人を作ることができ、多民族国家であるマレーシアの文化に直接触れることができました。また、環境問題を考え、日本の文化を見つめなおすとともに、英語力を身に付けることの重要性を肌で感じ取ることができました。

この5月末には、今度はアスンタ高生が本校を訪問することになります。また、ユネスコスクール学びの交流会を8月19・20日に能勢で開催することも決まりました。このような機会を積極的に活用し、総合学科としての「国際・情報」系列などの学習を一層深めていきたいと考えています。(校長)

以下は修学旅行の様子です。もっと多くの写真をHPにアップしています。是非アクセスしてみてください。



↑私たちが泊まったイスタナホテル  
5つ星です



↑イスラム教寺院では女子は  
長袖でスカーフが必要です



↑森林研究所でガイドによる  
ジャングルトレッキング



↑バツ洞窟の見学です。  
272段の石段を登りました



↑アスンタ高校では正門から  
大歓迎を受けました



↑両校校長の交流記念品の交換です。  
本校からは兜を渡しました。



↑本校生は英語で、挨拶や  
プレゼンを行いました



←本校生全員で、ダンス (AKB48)  
を披露しました。



↑クアラルンプールに移動し、  
アスンタ高生との記念写真です



↑夕食のパーティは、両校生がダンスや歌などのパフォーマンス  
を行い、大変盛り上がりました。最後の記念写真撮影です。

## さよなら！ジャーハオ さよなら！ハル

4月からほぼ1年間、能勢高で様々な経験をし、みなさんのゆかいな仲間であったジャーハオと、1月からの約3週間という短い期間ではあったけれど、密度の濃い交流をしてきたハルの二人が2月に帰国しました。下記の挨拶にもあるように、彼らにとってとても印象深い留学体験であったようですが、同じくらい私たちにとっても、異文化に触れ、理解し、交流を重ねる事ができた貴重な日々でありました。またいつの日か、きっと会えることと思います。その日まで、再見！안녕！

こんにちは、ジャーハオです。

あっという間に一年間が終わりました。能勢に来てよかったと思います。

いろいろなことを体験して、大きく成長しました。バドミントン、茶道、空手クラブ活動も一生懸命やりました。友達もたくさんできました。ホンマによかったと心から思いました。能勢にいる一年間は一生の宝物としてずっと心の中に残したいです。

明日、帰国することとなり、今日はもう胸いっぱいですから、まだ日本に来たらいっぱい話しましょう。

一年間ありがとうございました。

近いうちに必ず能勢にも戻ります。

2011/02/04

ジャーハオ

こんにちは。ハルです。

あっという間に三週間で終わりました。

最初は一緒に来た子はみんな市内なのになんで私だけ能勢なの？と思ったのですが、今は能勢に来てよかった～と思っています。そばを作ったり、茶道も体験してみたり、空手も体験してみるなど、韓国ではできない体験ができてよかったと思っています。最初はうまくできるのかな～と心配していましたが、先生もみんな気遣ってくれたりやさしくしてくれましたし、友達もみんな先に話しかけてくれたり、いろいろ手伝ってくれて本当に感謝しています。三週間の短い間でしたが、本当にありがとうございました。



## 人権文化発表交流会に参加してきました！

第7回人権文化発表交流会が2月5日、大阪府教育センター（大ホール・展示ホール）で開催され、本校3年生松田桃子さんが人権に関する作文の部で優秀賞を受賞し、表彰式に参加しました。人権に関する作文のコンクールは、生徒一人ひとりに人権問題を自らの課題として考えさせることにより、人権尊重の教育の推進を図ることを目的に、大阪府下の高校生を対象にして毎年行われているものです。今年は総数5057の応募があり、そのうち90作品が大阪府教育委員会に提出されました。審査の結果、最優秀賞4作品、優秀賞38作品が選ばれ、冒頭ご紹介したように、本校3年生の松田さんによる「**地球の仲間のために私たちができること**」と題した作文が優秀賞（3年生では4人）に輝きました。授賞式会場で学校の名前と自分の氏名を呼ばれて登壇し、表彰状を授与されました。拍手と写真のフラッシュライトが光って盛大なセレモニーでした。授与式のあと、最優秀賞を獲得した生徒4人が作品を朗読し、観衆の前で発表しましたが、いずれも心を打たれる内容でした。

能勢高校の人権教育は、異文化交流や平和問題、障がい者問題等いろいろな分野について行っています。来年度も学校で、人権問題を自らの課題として考え、作文にまとめる過程で理解を深め、優れたものについては能勢高校の人権教育の成果として応募していきたいと思っています。

後半の舞台発表は16校が行いました。共生教育の一環として取り組んでいるダンスやコーラス・民族舞踊といったパフォーマンスを披露したり、多文化共生・朝鮮文化研究・中国文化研究等をテーマに自校の取り組みについて紹介したりしました。すべての学校の生徒が、自分たちの持っているエネルギーを舞台の隅々まで使って発表する姿は感動的でした。（人権教育委員長 藤田）



↑表彰を受ける松田さん



↑舞台発表



↑展示ホールの様子